



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師
司会：高島奈々執事

前奏	5 4 0	会衆
頌栄		〃
主の祈り		〃
ブレイズ	「我がたましいの羊飼い」 「あがめます主の御名」	〃
聖書朗読	ヨブ記 25:1-6	司会
祈禱	(旧約聖書 p 807)	
特別賛美	FOAMS	
賛美	8	会衆
説教	「神の気高さと人の尊厳」	牧師
祈禱		
賛美	新生 3 0 0	会衆
献金		
報告		司会
頌栄	新生 6 7 2 b	会衆
祝禱		司会



第二礼拝次第 (19:00)

説教:渡真利彦文牧師

聖書:マルコ 2:17(新約聖書 p 64)

メッセージ:「魂の病人」

ブレイズ:「御霊によって生きる」

「永遠にあなたと」

賛美: 新生 5 5 3 新生 5 4 4



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利千佳子姉

聖書:エゼキル 8 章 1 - 1 3 節

メッセージ:「激怒する神さまの思い」

<巻頭言>

「沖縄バプテスト連盟略史③」

牧師 渡真利彦文

【1970 年 本土復帰に伴う沖縄バプテスト連盟の存続決議】日本復帰が決まり、沖縄バプテストもその方向性を議論することとなった。復帰に伴う「沖縄バプテスト連盟」の帰属問題は真剣に議論が繰り返されたが、アメリカの二つの宣教団と日本バプテスト同盟、日本バプテスト連盟の支援を受けての伝道であり、分離帰属も困難な諸事情の中にあった。そこで、両宣教団、両同盟・連盟の理解をいただき現状のままでの存続を決議し、その後も関係を維持しつつ今日に至っている。1991 年、沖縄バプテスト宣教 100 周年記念式典が行われた。1891 年沖縄講義所開設以来紆余曲折はあったが、宣教が続けられたことを感謝し、第二世紀への決意を新たにして礼拝が捧げられた。

【沖縄バプテストの使命と課題】125 年の歴史(戦後連盟結成 61 年)を重ね、沖縄におけるプロテスタント教会で最大の強勢を有するようになり、沖縄の宣教においては多くの機会に中心的な役割を担うようになった。今後、各個教会の強化(質的・量的)は最も大事な急を要する課題である。各個教会の教会強化なくして宣教協力も「絵に描いた餅」になり、計画倒れになりかねないからである。宣教の面で言うと、県内においても未伝(教会が無い)の地が多くあること、また、世界の教会との連携や宣教協力など課題が残る。

人、働き、更には組織のリニューアルが必要であり、そのためには心を合わせ真剣に祈り、将来を見据えていく必要がある。主の大宣教命令(マタイ 28 章)に生きる連盟となるように!